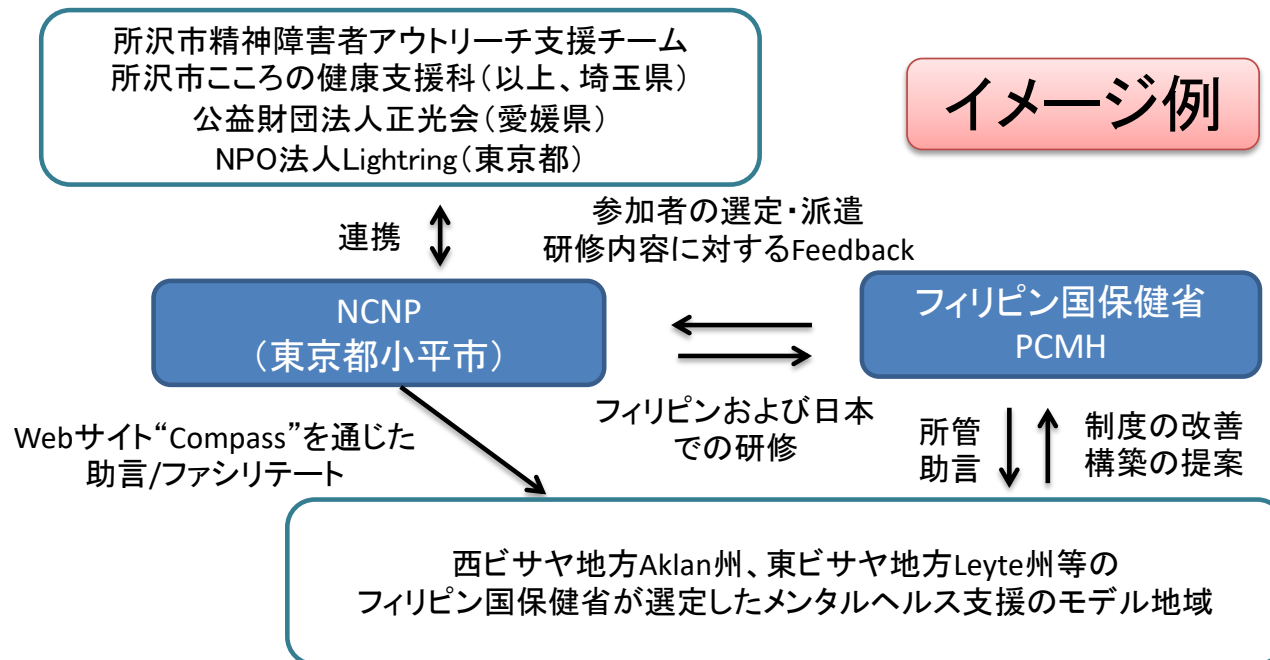


フィリピン国を対象とした地域精神保健支援の普及と実装

全体で10行程度（※以下4項目について、特に下線部は必ず明記すること）

- ① 背景およびニーズ：フィリピン国では地域でのメンタルヘルスカが重視されつつあるが、専門職による支援が未整備であり、適切な支援が提供されていない
- ② 目的：日本国で培われたコミュニティメンタルヘルス支援に関わるシステムやプログラムを研修、地域支援実践者同士の情報交換等を用いて伝達する
- ③ 方法：NCNP地域精神保健・法制度研究部がフィリピン国保健省およびPhilippines council of mental health（以下PCMH）と連携し、フィリピンおよび日本で地域支援に関するシステム構築やケースマネジメントについて知識伝達のための対面研修を実施する。またWeb上のプラットフォームを通じて日本側が研修で提供した内容の社会実装支援を行う。
- ④ 期待される成果とその後の波及効果
NCNP地域精神保健・法制度研究部がフィリピン国保健省およびPCMHと協働して実施する地域精神保健推進に関する対面研修の実施方法をマニュアル化し、本事業が提供するものと同水準の研修をフィリピン国内で広く実施できる状態することを2027年3月までに目指す。



イメージ例

<研修スケジュール予定>

- 2025年4-8月 オンラインミーティング（日比5名程度）
 - ・フィリピン国内での研修内容について相談
- 2025年9月14-18日 フィリピン国内研修
 - ・地域におけるさまざまなメンタルヘルス課題に多機関連携で取り組むためのグループワークを主体とした研修を、PCMHと共同で実施（日本側6-8名が渡比）
- 2025年10月7-10日 本邦研修
 - ・NCNPでの座学および所沢市でのフィールド視察・意見交換を含む地域精神保健システムに関する研修（比側7名が来日）
- 2025年10月-2026年2月 研修内容の実装に関するオンラインミーティング
 - ・次年度の本邦研修に関する相談
- 2025年4月-2026年2月 実装支援システム運用
 - ・Web サイト“Compass”を用いた双方向の情報交換、研修内容の実装支援のためにコンサルテーション可能なシステムを運営